



余 総 企 号  
平成19年5月 1日

国土交通省道路局長 様

北海道余市郡余市町長 上 野



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号により依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

（総務部 企画政策課）

## 道路整備に係る中期計画に対する市町村長の意見について

北海道においては、広大な土地を有し都市間距離が離れていることから他都府県との地域性の違いによる地域格差が拡大している状況と言えます。

特に現在問題になって来ている医師不足による地域医療の崩壊は、深刻な状況になっていることは言うまでもなく最近各地で頻繁に発生する地震や台風等による災害に対する防災対策等、安全・安心な社会を確保する上での高速道路のネットワーク化の推進は非常に重要なものと考えます。

道路特定財源の見直しにより、今後の道路整備については、非常に厳しい状況になってきているとは思いますが、今後、益々広がって行くと思われる地域間格差を是正するためには以下のような道路整備は非常に重要であると考えております。

### 1、高速道路ネットワークの早期整備の必要性

- ・地域医療の格差の拡大を埋め、高次医療施設への広域的アクセスの強化
- ・防災上の観点から地域の孤立化を防ぐため高速道路のネットワーク化
- ・観光や生鮮食料品の輸送等の高速化による地域経済の活性化

### 2、地域の活性化や渋滞対策としてのバイパス整備

- ・渋滞対策による緊急車両や住民生活の安全で安心できる足の確保

### 3、特に冬季間の安全・安心な交通網の確保のための除雪等の維持管理費の確保

- ・冬季間の除排雪による交通網の確保

これらのことから、特に後志管内においては、余市・小樽間の高速道路の早期完成と余市・黒松内間の高速道路の早期整備、更には、地域の生命線である国道229号の安全・安心のために積丹防災の早期完成を願うものであります。